



公共施設等総合管理計画を策定

町では、公共施設などの老朽化対策が大きな課題となっており、厳しい財政状況が続く中で、早急に公共施設の全体の状況を把握し、長期的な視点を持って、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設などの最適な配置を実現するため「笠松町公共施設等総合管理計画」を策定しました。



〈公共施設を取り巻く課題〉

①公共施設の老朽化への対応

築30年以上の建物が多くを占め、老朽化が進んでいます。今後大規模改修や建替えにより、安全確保や耐久性向上を図っていく必要があります。

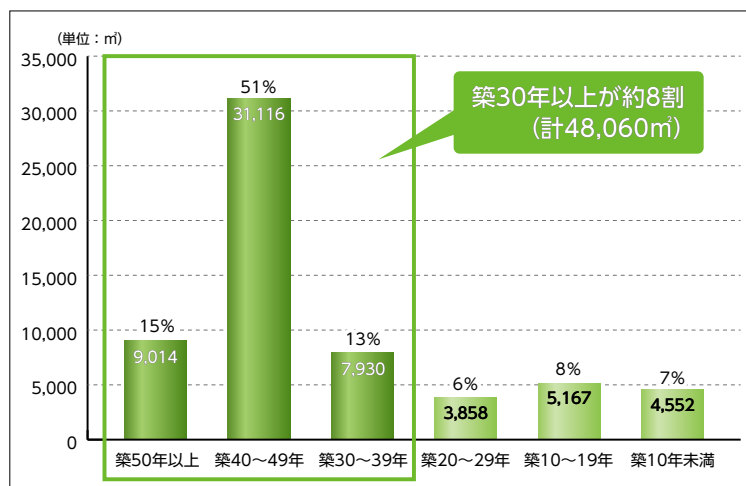
②厳しい財政状況への対応

公共建築物を、今後40年間維持管理・運営していくために必要な更新費用は、約300億円(年平均額7.5億円)と試算され、直近5年間の公共建築物への投資的経費の年平均額約4.5億円と比較すると、1年あたりで、約3億円不足することになります。従来通りのやり方を続けていくだけでは、財政の破綻や行政サービスに重大な影響を及ぼすおそれがあります。

③利用者ニーズの変化への対応

本町の人口は、減少傾向が続くと予測され、高齢化率は平成52年で32.6%(平成22年は23.8%)になると予測されています。今後、公共施設に対する需要が大きく変化し、町民ニーズを踏まえた公共施設などや、提供サービスを検討し、適正化を図る必要があります。

公共建築物の建築年数別延床面積



〈基本方針〉

①長寿命化と適切な維持管理によるコストの削減

対症療法的な修繕から、計画的な「予防保全型管理」により、施設などの利用期間を戦略的に伸ばす長寿命化を促進します。

②適正配置・最適化

地域需要のバランスを踏まえつつ、保有施設の廃止、複合化、集約化、用途変更などにより、施設の適正配置に取り組みます。

③維持管理や運営手法の見直し

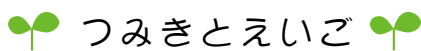
公共サービスの一定水準を維持しつつ、コスト削減を踏まえた最適な維持管理や運営手法のあり方を検討します。

〈数値目標〉

町では今後の財政負担を軽減するため、公共建築物の保有量(延床面積)を今後40年間で約25%削減するという数値目標を設定しました。

今後は本計画に沿い、個々の公共施設などのあり方を検討していきます。検討にあたっては町民の皆さんと一緒に進めていく必要があります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【問 合 先】企画課



つみきとえいご
笠松双葉幼稚園

〒501-6064 岐阜県羽島郡笠松町北及66
TEL:058-387-9155
<http://www.tsumiki.ed.jp>

地域と共に！
社会医療法人蘇西厚生会

松波総合病院

関連施設

- まつなみ健康増進クリニック
- 人間ドック・健診センター
- 人口透析センター
- まつなみリサーチパーク(医学研究所)
- 松波総合病院介護老人保険施設
- まつなみ訪問介護ステーション
- まつなみ訪問看護ステーション
- 松波総合病院居宅介護支援事業所
- まつなみケアプランセンター

TEL 058-388-0111(代)
<http://www.matsunami-hsp.or.jp>